

令和 6 年度

第 1 回富山市社会教育委員会議

説 明 資 料

【目 次】

	頁
1. 令和 6 年度教育関係歳出予算	1
2. 令和 6 年度主要施策	
①生涯学習課	2～7
②民俗民芸村	8
③埋蔵文化財センター	9
④市民学習センター	10
⑤図書館	11
⑥科学博物館	12～14
⑦郷土博物館	15
⑧教育行政センター	16～18

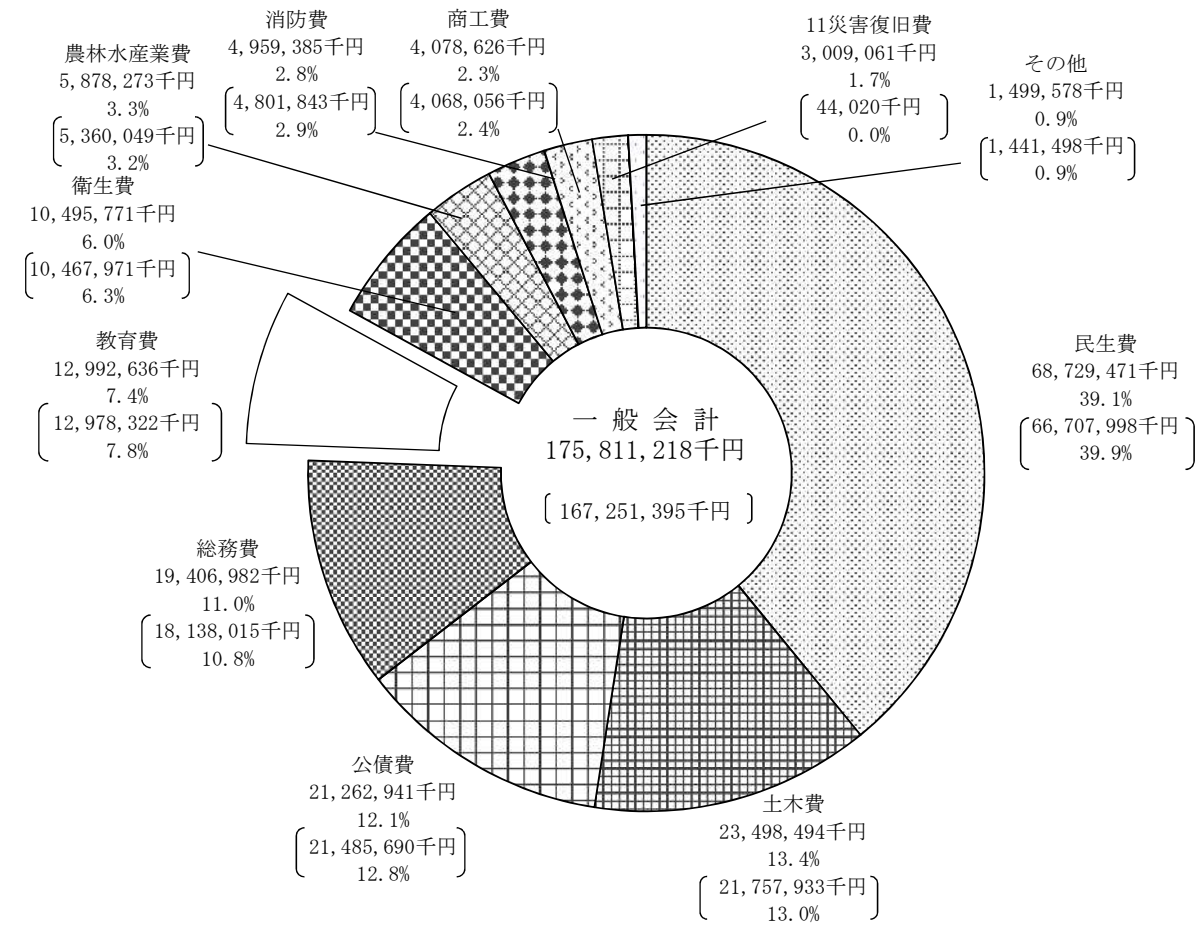
教育財政

I 令和6年度教育予算

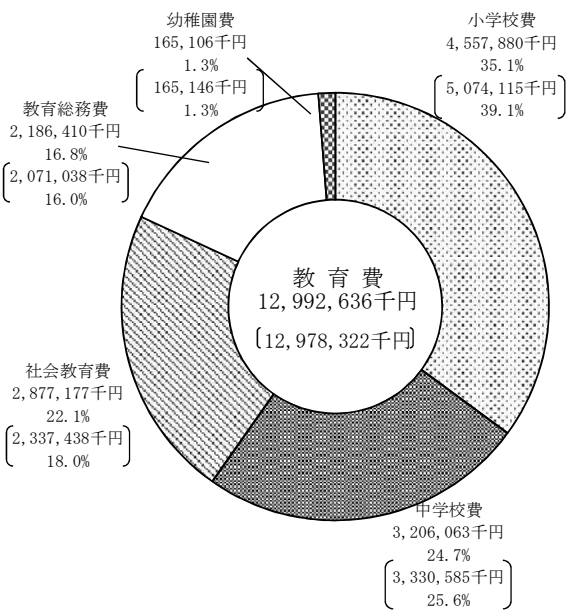
1 当初予算概要

[] 内は令和5年度

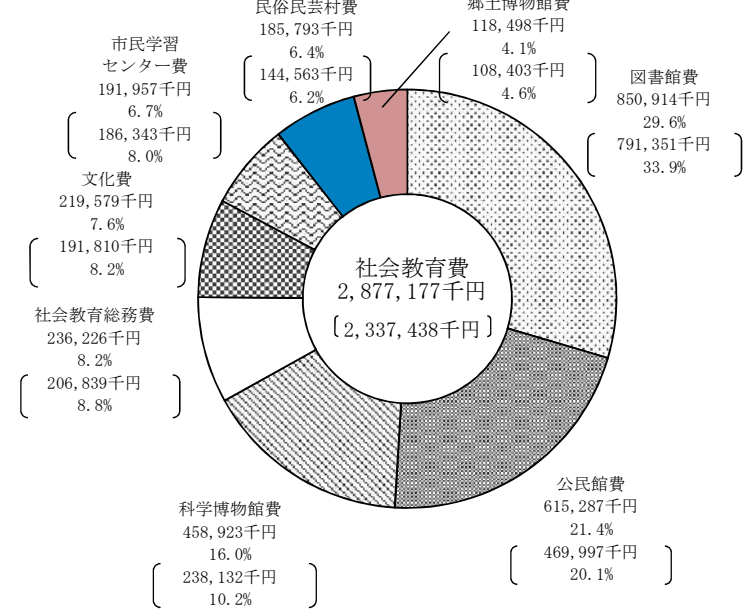
(1) 一般会計款別図表



(2) 教育費目的別構成図表



(3) 社会教育費目的別構成図表



2. 令和6年度主要施策

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 生涯学習課)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価																																																						
1. 子どもかがやき教室事業 8, 9 3 0	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校の余裕教室や体育館、公民館などを活用し、子どもの居場所の確保を図り、地域住民が指導員となり、子どもたちの放課後や学校休業日における学習活動やスポーツ・芸術文化活動、地域交流活動を実施するもの。 また、放課後子ども総合プラン運営委員会（P T A、健全育成関係者、学識経験者等で構成）を開催し、児童健全育成事業との連携を含めた効果的な運営の在り方について検討し、総合的な放課後対策の推進を図る。 <参考>各地域における教室数 <table><tr><th>年度/ 地域</th><th>富 山</th><th>大 沢 野</th><th>大 山</th><th>八 尾</th><th>婦 中</th><th>山 田</th><th>細 入</th><th>計</th></tr><tr><td>R6</td><td>26</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>41</td></tr><tr><td>R5</td><td>25</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>1</td><td>40</td></tr><tr><td>R4</td><td>27</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>1</td><td>42</td></tr><tr><td>R3</td><td>24</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>37</td></tr><tr><td>R2</td><td>21</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>35</td></tr></table>	年度/ 地域	富 山	大 沢 野	大 山	八 尾	婦 中	山 田	細 入	計	R6	26	3	2	3	5	1	1	41	R5	25	3	2	2	6	1	1	40	R4	27	3	2	2	6	1	1	42	R3	24	3	2	3	3	1	1	37	R2	21	3	2	3	4	1	1	35	市内小学校区で実施。子どもの数の減少や指導員不足等が課題となっているが、子どもに体験学習の機会を提供するために、それぞれの地域で様々な事業が実施されている。 今後も未実施地区に対して事業の実施を促していく。
年度/ 地域	富 山	大 沢 野	大 山	八 尾	婦 中	山 田	細 入	計																																																
R6	26	3	2	3	5	1	1	41																																																
R5	25	3	2	2	6	1	1	40																																																
R4	27	3	2	2	6	1	1	42																																																
R3	24	3	2	3	3	1	1	37																																																
R2	21	3	2	3	4	1	1	35																																																
2. 生涯学習コミュニティフォーラム開催事業 1 0 0	少子・超高齢社会に対応し、人と人との絆を大切にした地域社会の形成や、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりのため、講演や事例発表を行い、心豊かな地域コミュニティづくりを推進するもの。富山市ふるさとづくり推進連絡協議会へ委託して実施。																																																							

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価																		
3. 壮年期自己啓発助成事業 150	壮年期（55歳以上）を迎えた市民の自己啓発支援の一環として、県内大学が行う社会人向け講座（科目等履修、聴講生制度等）の受講修了者に、受講料の一部（2分の1）を助成する。 ＜参考＞助成件数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>件数</th><th>助成金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td><td>27 件</td><td>122,500 円</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>16 件</td><td>73,100 円</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>23 件</td><td>114,250 円</td></tr> <tr> <td>R2</td><td>15 件</td><td>81,100 円</td></tr> <tr> <td>R1</td><td>70 件</td><td>342,100 円</td></tr> </tbody> </table>	年度	件数	助成金額	R5	27 件	122,500 円	R4	16 件	73,100 円	R3	23 件	114,250 円	R2	15 件	81,100 円	R1	70 件	342,100 円	各大学と連携し、周知に努める。
年度	件数	助成金額																		
R5	27 件	122,500 円																		
R4	16 件	73,100 円																		
R3	23 件	114,250 円																		
R2	15 件	81,100 円																		
R1	70 件	342,100 円																		
4. 生涯学習推進事業 960	生涯学習推進に関する補助金や各種負担金 1 補助金 730千円 (1)ユネスコ活動育成補助金 (2)とやま元気ワールド補助金 2 負担金 230千円 (1)全国生涯学習市町村協議会負担金 (2)東海北陸社会教育研究大会開催地負担金																			
5. 社会教育団体支援事業 1,838	時代に即した成人の学習・活動の促進を図るため、研修や青少年育成、家庭教育に関する事業を富山市PTA連絡協議会へ委託する。また、社会教育団体に対し事業費の一部を補助する。 1 委託事業 700千円 (1)良書推薦事業委託 (2)成人教育活動事業委託 2 補助事業 1,138千円 富山市PTA連絡協議会（団体補助金）																			

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価																		
6. ふるさとづくり 推進事業 36,191	富山市ふるさとづくり推進連絡協議会に次の事業の委託・補助を行い、各地区におけるふるさとづくり事業の充実を図る。 1 委託事業 10,880千円 (1) ふるさとづくり推進会議運営委託 (82地区) (2) 公民館ふるさと講座開催委託 (82地区) 2 補助事業 25,311千円 (1) 地域づくりふれあい総合事業補助金 (82地区) (2) ふるさとづくり推進研修事業補助金 (3) ふるさと活性化事業補助金 地区ふるさとづくり推進協議会が行う地域活性化に資する事業に対し助成 ＜参考＞ふるさと活性化事業実施地区数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>実施地区数</th><th>補助金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td><td>6 地区</td><td>2,174,000 円</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>9 地区</td><td>2,237,087 円</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>6 地区</td><td>1,416,000 円</td></tr> <tr> <td>R2</td><td>8 地区</td><td>1,435,386 円</td></tr> <tr> <td>R1</td><td>11 地区</td><td>2,859,357 円</td></tr> </tbody> </table> (4) 富山市ふるさとづくり推進連絡協議会 (団体補助金)	年度	実施地区数	補助金額	R5	6 地区	2,174,000 円	R4	9 地区	2,237,087 円	R3	6 地区	1,416,000 円	R2	8 地区	1,435,386 円	R1	11 地区	2,859,357 円	各地区ふるさとづくり推進協議会において、それぞれ特色を生かした事業を展開しており、コミュニティの形成、生涯学習の推進に効果を上げている。 しかし、参加する住民が固定されつつあり、幅広く参加者を募ることが課題となっている。 地域住民が積極的に参画できる講座の開設や事業内容の充実、地域住民への PR がさらに求められる。
年度	実施地区数	補助金額																		
R5	6 地区	2,174,000 円																		
R4	9 地区	2,237,087 円																		
R3	6 地区	1,416,000 円																		
R2	8 地区	1,435,386 円																		
R1	11 地区	2,859,357 円																		
7. 公民館類似施設建設補助事業 13,500	公民館類似施設（自治公民館）の建設等に対して補助金を交付する。																			
8. 公民館類似施設整備資金貸付事業 6,000	公民館類似施設（自治公民館）の建設等に対して貸付を行う。																			

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
9. 公民館建設事業 168,537	1 蜷川公民館改築事業 [改築工事] [意図伝達] [工事監理] [工損調査] 2 山室中部公民館改築事業 [実施設計] 3 旧細入公民館解体関連事業 4 黒瀬谷公民館移転関連事業	施設の老朽化や利用状況等を勘案しながら順次整備に努める。今年度は蜷川公民館改築工事に着手する。
10. 地域生涯学習支援事業 14,092	自治公民館等に対する生涯学習活動の支援を行うことにより、地域の活性化を図る。 1 自治公民館活動推進事業 2 まちづくり講師・指導者派遣事業 3 生涯学習団体支援事業	地域に密着した公民館活動を推進するために、身近で参加しやすい環境づくりに努めている。

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1 1. 文化財保護事業 6 6, 6 1 3	1 重要文化財浮田家住宅・重要文化財旧森家住宅・登録有形文化財旧馬場家住宅保存管理 2 文化遺産等保存活用推進事業 ・富山市文化財保存活用地域計画策定事業（2年目） ・旧森家住宅耐震対策事業（2年目） ・旧森家住宅防災設備設置準備 ・旧米田家住宅維持管理 3 県指定天然記念物「浜黒崎の松並木」環境整備 4 文化財保護普及・管理 ・浮田家住宅屋根葺替等改修事業 ・旧森家住宅シロアリ対策 ・文化財案内板の設置 ・千歳御門維持管理等 5 文化財保護支援4件 ・市内の指定文化財等の保存・継承について支援を行う。	浮田家住宅や旧森家住宅などの文化財を良好な状態で維持していくため、老朽化した部分の修繕等を適時適切に行う必要がある。 旧森家住宅は昨年度より耐震対策事業を開始したところであるが、令和6年能登半島地震により被害が生じたため、耐震補強とともに災害復旧もあわせて行う必要がある。 また、市内文化財の適切な保存活用に向けて方針を立てる必要がある。
1 2. 博物館等利用促進事業 9 7 3	1 孫とおでかけ支援事業 ・祖父母と孫が一緒に対象施設を訪れた場合に、観覧料等を全額無料にするもの。県内すべての市町村にある60施設が対象。 2 キャッシュレス決済事業 ・郷土博物館、佐藤記念美術館、科学博物館、ガラス美術館において、電子マネー等を使用し入館料等を支払えるよう環境を整備する。	孫とおでかけ支援事業利用者の更なる増のため、PR活動に努める。 キャッシュレス決済システムの導入により来館者の利便性が図られている。

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
＜参考＞ 富山県とやま親学び推進事業（県事業）	家庭の教育力の向上を目指し、「親を学び伝える学習プログラム」の普及・啓発を推進するため、小中推進リーダーや小中推進スーパーリーダー等を配置する。 1 小中推進リーダー等の配置 小中推進リーダー： 市内に41名配置 小中推進スーパーリーダー： 市内に4名配置 幼保推進リーダー： 市内に3名配置 2 小中推進リーダー等の役割 (1) 親学び講座の企画・運営及び普及・啓発 ア P T A研修会等、P T A行事での企画・運営及び普及・啓発 イ 学年学級懇談会、入学説明会（就学時検診時）等、学校行事での企画・運営及び普及・啓発 ウ 幼稚園・保育所等での普及・啓発 (2) 新たな親学び講座進行役の発掘と指導法の伝授 ア 各学校 P T A 役員等の中から親学び講座進行役を発掘 イ 講座進行役への講座進行方法や留意点等をアドバイス ※富山市教育委員会では、 ①親学び講座の実施支援 ②推進リーダー推薦 を行う。	地域のつながりが希薄化するなか、すべての親が安心して子育てができるよう、家庭教育を支援する必要がある。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 民俗民芸村)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1. 管理運営事務費 176,713	施設の維持・管理・事務費 ・村内施設設備等修繕 ・文化財燻蒸・防カビ業務 等	能登半島地震の被災による 損傷箇所をはじめ、老朽化 した施設等の修繕・改修に 努めている。
2. 展示開催事業費 3,900	民俗資料館開館50周年記念特 別展「茅葺ウグイス造りと人 びとの暮らし」や各館の特色 を生かした企画展等、計11 回開催を予定	来館者のニーズに応え、魅 力ある企画や展示に努めて いる。
3. 普及活動事業費 1,462	・陶芸教室（初級・中級） 4月～11月 ・夏休み親子陶芸教室 7月～8月 ・染物教室 6月・12月 ・夏休み親子染物教室 7月 ・呉羽山歴史探訪ツアー 11月 ・いろりを囲むお話 5月～12月 ・雪ん子になろう 11月～R7年2月	歴史・民俗・美術に対する 市民の理解を促すとともに、 個々の知識と創造性を 育むよう努めている。
4. 調査研究事業費 679	収集方針に沿った文化財の資 料収集等	地域性や各施設の特色を考 慮し、歴史・民俗・美術資 料の収集に努めている。
5. 環境整備事業費 3,039	・環境整備業務（草刈・除草） ・生垣刈込整備業務 ・樹木等伐採剪定業務 ・雪囲い等整備業務 等	豊かな自然に囲まれた村の 景観維持に努めている。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 埋蔵文化財センター)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1. 埋蔵文化財調査事業費 38,393	1 市内遺跡発掘調査、出土品整理 (1) 市内遺跡発掘調査 (2) 市内遺跡出土品整理 (3) 市内遺跡試掘調査 (4) 県営農地整備工事試掘調査事業 2 埋蔵文化財普及活動 (1) 発掘速報展 (2) 発掘調査現地説明会等	・各種開発行為に伴う市内遺跡の発掘調査や試掘調査を実施しており、開発行為に対して円滑な対応に努めている。 ・婦中町羽根地区において4.0haの試掘調査を行う。 ・発掘速報展などを開催し、展示に関わる講演会を行うなど、埋蔵文化財の普及に努めている。
2. 文化財保護事業費 87,328	1 北代縄文広場管理運営 2 安田城跡歴史の広場管理運営 3 史跡保存整備事業 4 安田城跡歴史の広場再整備事業	・整備した史跡等施設の管理運営の充実を図っている。 ・北代縄文広場などの史跡の樹木伐採、選定を行い環境整備に努めている。 ・北代縄文広場において、文化財保護法で設置が規定されている境界標を復元する。 ・堀の浚渫、護岸改修工事。 ・令和7年度予定工事（堀の浚渫、護岸改修、土塁展示施設改修）分の実施設計。 ・本事業は国補対象事業であり、補助金の減額等により、事業期間延長などの可能性がある。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 市民学習センター)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
市民大学開設事業費 11,984	生涯学習の拠点として、市民大学開設等により、市民に系統的・継続的な学習機会を提供するもの。 1 市民大学の開設 ・一般 38 コース ・創作 9 コース ・プラネット 6 コース - 計 53 コース 2 生涯学習の啓発 (1)特別講演会 4 回 (2)特別講義(1～2月) 5 回 (3)わくわくキッズ教室 6 コース (4)市民大学祭 11月28日(木) ～11月30日(土) (5)叢書・学報の発刊	郷土・歴史・文化・芸術・健康等に関する多彩なコース開設により、市民の継続的な生涯学習を引き続き支援している。 市民の学習ニーズを把握し、より魅力あるコース開設・充実を図るとともに、市民大学祭などの機会を捉えて周知を行い、新規受講者獲得に努める。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 図書館)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1. 管理運営事務費 726,883	施設等の維持管理、館の運営等を行う。	
2. 蔵書充実事業費 86,457	図書の購入や寄贈資料の保存等を行う。	計画的に図書の購入を行い、魅力ある開架図書の維持に努める。特に地域館・分館においては更新を進め、蔵書の充実を図る。
3. 読書普及事業費 482	子どもの読書普及を図るほか、視覚障害者等の読書環境の改善を図る。	
4. 図書館ネットワーク事業費 31,662	図書館ネットワークシステムの維持管理を行う。	八尾図書館に自動貸出機と BDS ゲートを設置し、利用者のプライバシーの保護を図るとともに業務を省力化し、サービス向上に努める。
5. 音と映像資料充実事業費 430	CDやDVD等の音と映像資料の充実を図る。	
6. 知を深める市民交流推進事業費 5,000	イベントや講演会など幅広い世代を対象とした行事を開催し、読書普及と図書館の利用促進を図る。	作家による講演会やワークショップ、挿絵の原画展等を開催し、交流事業をきっかけとした図書館の利用促進を図る。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 科学博物館)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1. 管理運営事務費 399,004	・ 館の運営と維持管理	新たな保全体制に基づく施設設備の更新等の対応を取り、施設の長寿命化を図る。
2. 調査研究事業費 1,188	・ 自然史・理工9分野の調査研究 ・ 山岳地域自然調査の実施 ・ 研究報告第48号発行 ・ 研究会、講義での成果発表等	主に富山の自然について分野別に調査研究活動を行い、成果を市民向け研究発表会、展示、研究報告等を通じて公表し、自然科学への理解向上に努めている。
3. 展示事業費 9,030	・ 常設展示の運営と保守 ・ 特別展「たのしむ重力 ～落ちるひっぱる そして、曲げられる♪～」の開催 ・ 企画展「日本星景写真協会写真展-星の風景 2025-」等を7回開催	常設展示はリニューアルから17年が経過し、展示すべき新知見が増えるなど一部内容が古くなり、また故障や劣化が目立っている。
4. 資料収集事業費 996	・ 各種資料収集、整理 ・ 画像の公開 ・ 標本データ 2,000 件を英語化し国立科学博物館に提供して、地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) /サイエンスミュージアムネット S-Net で公開 (館提供累積 256,796 件)。	50 万点を超える資料を収集・保管し、展示やイベントで役立てているが、保管スペースの確保が困難になりつつある。

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
5. 普及教育事業費 11,145	・各種イベントの実施 野外観察会、科学教室、連携イベント ・星空観察会の実施 ・質問への回答 ・ボランティアの育成と活動の推進 ・普及雑誌「とやまと自然」の出版 年4回 ・学校との連携「教員のための博物館の日」の開催	参加する人がそれぞれの興味を深めることができるよう、館内外で多様な行事を企画し、実施している。
6. 「ジュニア科学賞・とやま」事業費 310	・「第22回ジュニア科学賞・とやま」の実施 田中耕一氏の研究姿勢に見られる「優れた着想」「ユニークなアイデア」「粘り強い努力」のいずれかに抜きん出た児童・生徒3人を表彰。	過去21年で63人の児童・生徒を表彰した。 子供たちに科学への夢と希望を育み、科学の面白さを伝えるとともに、子供たちの創造性育成に一定の役割を果たしている。
7. プラネタリウム 投影事業費 15,642	・一般向け投影 平日4回（内2回は団体専用）、 土日祝日6回 ・特別番組 「星空とCDコンサート」や外部講師による講演会等を約10回 ・学習投影（小学4年生対象） ・幼児向け投影	令和5年3月のリニューアルオープンにより観覧者は増えたが、今後も多くの人に利用してもらうため、多目的な活用や、魅力的な番組、イベントを実施していく必要がある。
8. 恐竜化石事業費 208	・恐竜探検隊行事の実施 (小学4～6年生の親子 約40名)	国内最大規模を誇る大山地域の恐竜足跡化石露頭面において、約500個の足跡を見学するほか、化石発掘体験等を実施することで子供たちの興味を高めている。

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
9. 科学博物館整備 事業費 21,400	・展示更新計画の第1期として、市民と学芸員・研究者とのサイエンスコミュニケーションを深める場とするサイエンス・ラボ（仮称）を整備。	改修時は、該当エリアに仮設の壁を設置して閉鎖し、来館者への影響が少ないように配慮するが、粉塵や騒音、断水等が生じる期間等には臨時休館が必要となる。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 郷土博物館)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1. 管理運営事務費 109,500	郷土博物館及び佐藤記念美術館・本丸亭、上滝資料保管庫の維持・管理・事務費	・適切な維持管理や施設改修を行い、より良好な観覧環境を提供する。
2. 展示普及事業費 8,000	① 特別展（郷土博物館） 「富山の浮世絵―売薬版画」 ② 特別展（佐藤記念美術館） 「漆芸家 川西重澄の全貌」 ③ 企画展（郷土博物館） 「富山産業大博覧会」など4回 ④ 企画展（佐藤記念美術館） 「理想の人々、憧れの地」など4回 ⑤市民向け普及事業の開催	・江戸後期から大正時代までの売薬版画の歴史を通観する。 ・富山市出身の漆芸家・川西重澄の仕事の全貌を代表作を通じ紹介する。 ・富山産業大博覧会や館蔵する武具、また城下から出土した考古遺物などを通して、富山城や富山の歴史や文化を紹介する。 ・収蔵品の東洋古美術をはじめ、郷土ゆかりの絵画・工芸品などを通して富山の美術工芸や茶道文化を紹介する。 ・歴史探訪ツアー、本丸亭見学会、さと美ワークショップなどを開催する。
3. 調査研究事業費 998	①資料収集事業 ②古文書等調査事業 ③佐藤記念美術館調査研究事業 ④富山市近現代資料調査保存事業	・収蔵品の充実を図る。 ・古文書の調査・整理・目録刊行準備を着実に進める。 ・佐藤記念美術館の収蔵作品・資料の調査を実施 ・富山市近現代資料調査等を行う。

令和6年度主要施策に係る現状と課題

(所属名 教育行政センター)

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
1. 猪谷関所館管理運営費 12,537	猪谷関所館の管理運営、常設展、企画展等の開催 1 企画展 (1)「越中を襲った江戸時代の災い」 (6月8日～9月29日) (2)「飛騨街道と野仏群」 (10月19日～ 令和7年1月26日) (3)「神通峡の伝説と昔話」 (令和7年2月8日～ 5月25日) 2 特別企画 (1) 古文書教室 6月 (2) 円空仏ガラス細工教室 7、8月 (3) 円空仏土鈴教室 10月、11月 3 歴史と文化講演会 10月 4 歴史探訪ウォーク 春のウォーク 5月18日 秋のウォーク 9月21日	入館者数の増加を図るため、企画展の館長説明会や企画展に関連した行事の実施等により、企画展及び事業の充実に努める。

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
2. 生涯学習推進事業費 590	市内の中学生を対象に、薬師岳登山道周辺の美化活動を行いながら山頂をめざす「第40回薬師岳美化行進」を実施する。 【実施予定日】 8月18日(日)～19日(月) 【参加定員】 中学生 20名 指導員 10名	「ふるさと富山美化大作戦」の一環でもあり、自然愛護や環境保護意識を啓発し、郷土愛を高めることを目的としており、今後も継続して実施する。
3. 大山歴史民俗資料館等管理運営費 10,719	大山歴史民俗資料館の管理運営、常設展示及び企画展等の開催 1 企画展 (1)「常願寺川と水力発電」 (8月10日～11月24日) (2)ミニ企画展 収蔵品展「昔の教科書」 (4月6日～6月16日) (3)大山会館での展示 (展示替え年4回) 2 その他 (1)体験講座 ・恐竜ジオラマづくり 7月 ・勾玉づくり 7月 (2)企画展関連講座 9月 (3)特別講座 (3回予定)	入館者数の増加を図るため、企画展や体験講座等を実施するとともに、大山会館展示スペースを活用し広報していく。 効率的な館の運営を行うため、令和5年度から冬期閉館(12月28日～翌年3月31日)を行っているが、閉館中も施設の維持管理に万全を期し、市指定文化財である「有峰狛犬」等の貴重な展示資料を適切に保存していく必要がある。

主 要 事 業 (項目、予算額(千円))	概 要	現状の課題・評価
4. 八尾化石資料館管理 運営費 2, 7 9 7	八尾化石資料館の管理運営、常設展示及び企画展等の開催 【開館日】 通常開館（年間 60 日） 春季: 4 月 22 日～5 月 10 日 夏季: 7 月 22 日～8 月 31 日 （希望に応じて臨時開館を実施） 1 企画展 「貝の化石がおしえる ～とやまから発信～」 (7 月 22 日～8 月 31 日) 2 ワクワク化石教室 7 月	これまで、時期を限定して開館するなど施設の効率的な運営に努めてきたが、今後、大幅な利用者数の増が見込めないことから、令和 6 年度末をもって八尾化石資料館を廃止する。 廃止後の資料館の建物、化石資料、什器等は、科学博物館に所管換する。なお、現在展示中の化石資料は、科学博物館での展示に活用し、また、建物は、化石資料保管庫として使用する。

博物館等の入館者数と目標数値について

1 第2次富山市総合計画 後期基本計画（令和4～8年度）における目標数値等

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
博物館等の観覧者数	市立博物館等 17 施設の入館者数	展示内容等の充実を図り、毎年1%程度の観覧者数の増加を目指す。	865,823 人 (令和元年度)	930,000 人

2 各博物館等入館者数

(単位：人)

No.	施設名称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	科学博物館(天文台除く)	107,173	66,049	89,015	99,948	129,875
2	郷土博物館（富山城）	65,206	30,105	31,609	57,478	65,136
3	佐藤記念美術館	18,511	7,625	8,684	12,284	14,612
4	民俗民芸村	60,989	38,659	44,960	53,370	49,173
5	ガラス美術館	163,797	118,992	94,393	172,827	208,683
6	ファミリーパーク	348,101	272,158	267,976	297,677	237,335
7	大沢野植物園	995	1,365	1,231	1,370	1,471
8	猪谷関所館	6,565	3,078	3,195	5,720	4,503
9	大山歴史民俗資料館	1,824	1,027	1,144	1,132	965
10	八尾おわら資料館	10,927	3,733	4,719	7,618	9,032
11	八尾化石資料館	867	1,001	673	990	418
12	八尾曳山展示館	22,608	4,675	6,908	9,100	14,079
13	浮田家住宅	1,442	714	960	1,202	1,201
14	旧森家住宅	27,973	16,896	18,800	39,063	37,107
15	旧馬場家住宅		5,638	20,909	34,253	33,643
16	北代縄文広場	8,372	5,959	6,527	6,532	7,536
17	婦中安田城跡歴史の広場	20,473	15,809	17,060	17,465	13,471
	合計	865,823	593,483	618,763	818,029	828,240

※1 No.15 馬場家は令和3年1月16日より一般公開を開始した。

※2 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、下記の期間施設を臨時休館した。

令和2年4月15日～5月31日、令和3年8月18日～9月12日（一部の施設は期間が異なる）

※3 No.9 大山歴史民俗資料館は令和5年度より冬季休館（12月28日～3月31日）

※4 令和6年能登半島地震の影響により No.14 森家 15 馬場家は令和6年1月1日より休館（馬場家は4月30日まで、森家は現在休館中）。その他の施設でも地震の影響による臨時休館があった。